

## 第28回発達診断セミナー〈心理専門職コース〉

主催 人間発達研究所  
後援 滋賀県（依頼中）  
大津市（依頼中）

発達診断セミナーは、心理専門職が発達診断・発達相談や関連する諸科学について系統的に学ぶセミナーです。今回の第Ⅳシリーズでは、発達診断が、子どもや障害のある人たちの発達や教育にどのように寄与していけばいいのかを学ぶことに合わせ、厳しさを増す情勢の中で、心理職として果たすべき役割について考える機会になることを願い、企画をしました。今回のセミナーでは、2歳から4歳頃の時期（2次元形成期）の特徴をおさえつつ、「自己」と「他者」が形成されるプロセスや検査場面における「支え」といった理論面と、発達相談の事例検討、障害児教育の実践報告といった臨床面の2つの観点から学びを深めていければと考えています。保育や教育、そして発達相談の現場でも、これまで第一線で活躍されてきた世代から新しく歩み始める若い世代へとバトンが渡されつつあります。発達保障の歴史や新しい心理学的知見に学びながら、この時期における発達や障害を中心に、発達診断やその後の育ちを見すえた支援、また家族や保育・教育現場への支援のあり方を探っていきたいと思います。

発達診断・発達相談に携わるみなさんのご参加をお待ちしています。

テーマ 2～4歳頃の発達と障害

対象 発達診断・発達相談に携わる専門職

日程 2015年10月31日（土）・11月1日（日）

会場 財団法人 滋賀県人権センター「光荘」

大津市におの浜4丁目1-14（電話077-522-8243）

参加費 人間発達研究所会員 10,000円

会員以外 12,000円

（資料代を含みます）

定員 120人

申込み 専用申込用紙にて。インターネットの申込受付サイトもあります。

締切り 10月23日（金）消印有効

問い合わせ 人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

TEL/FAX 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

URL <http://www.j-ihd.com/>

# 日程

※講義の録音、撮影は固くお断りいたします

10月31日(土)	
9:30	受付開始
10:00	開会
	ゼミⅠ 2次元の世界を拓き充実させていく時期の発達と発達診断 白石恵理子(滋賀大学教育学部) < 12:00 ~ 13:00 昼食休憩 >
14:00	休憩
14:15	ゼミⅡ 自閉症スペクトラムのAさんの小学部1年生から3年生までの育ちを振り返る 大城徳子(滋賀県立野洲養護学校)
15:45	休憩
16:00	ゼミⅢ 2~4歳の心のゆらぎと自己形成 木下孝司(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
18:00	
18:15	交流会

11月1日(日)	
9:30	ゼミⅣ 「やらねばならない」から「いいのあるかな」へ——Mくんの自我の育ちと“こだわり”を中心に—— 谷口 綾(泉佐野市子育て支援課)
12:30	昼食・休憩
13:30	ゼミⅤ 新しい発達診断法開発の試みから——発達診断の根拠と実践的意義を考える—— (報告者) 富井奈菜実(立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程) / 共同研究者: 人間発達研究所「新しい発達診断法開発プロジェクト」荒木穂積, 中村隆一, 竹内謙彰, 松島明日香, 荒井庸子, 松元佑
15:30	閉会

# 講義内容

## ゼミⅠ 2次元の世界を拓き、充実させていく時期の発達と発達診断

このゼミでは、2次元形成期に入り、その力を充実させていく時期の発達と診断について、昨年度に引き続き、白石氏に報告していただきます。2次元形成期になると子ども達は多様な対の世界をつくり出していくようになります。そのような中で、子ども達がどのように他者との関係を結びながら、自分を育てていくのか、揺らぎつつ心を太らせていく過程について、発達の特徴をふまえながらお話ししていただきます。さらに、その時期に困難を抱える子ども達の支援や指導のポイントを提起していただきます。

## ゼミⅡ 自閉症スペクトラムのAさんの小学部1年生から3年生までの育ちを振り返る

養護学校の小学部で教師をされている大城氏は、「他者性」と「主体性」に着目した特別支援教育の実践をされています。これまで、こだわり、偏食、対人面の弱さなど様々な困難を抱えていたAさんが大きく変化し、育っていく様子について、「他者性」と「主体性」という2つの視点に触れながら報告していただきます。「人との関係」の中で、自分の思いやつもりを主体的に表現したり、相手の思いを受け止めたり、2次元形成期を充実させる豊かな実践について学びたいと思います。

## ゼミⅢ 2～4歳の心のゆらぎと自己形成

2～4歳においては自我の拡大や自我の充実が大きなテーマになってきます。このゼミでは、他者とのコミュニケーションを通じた自己形成のプロセスを研究しておられる木下氏から、この時期の自己のあり方の不思議さやおもしろさについて、研究的な視点を交えて紹介していただきます。この時期の子どもが「かけがえのない」存在としての自己を自覚し、自尊心を高めていけるように、実践者や発達相談員は子どもの心のゆれをどう捉え、そこにどう向き合えばよいのか。具体的なエピソードを交えていただきながら、保育や教育、発達診断の実践に活かせる点を学んでいきます。

## 交流会（事前にお申し込みください）

児童福祉法の改正などにより、障害乳幼児をとりまく環境は大きく変化しています。そのような中で、自治体や施設で働く心理職として、今後どのように支援のシステムをつくっていくべきか悩むこと、他の職場ではどうしているのか聞いてみたいことなどがたくさんありませんか？  
若手・ベテランを問わず、みなさんのご参加をお待ちしております。

## ゼミⅣ 「やらねばならない」から「いいのあるかな」へ

### ——Mくんの自我の育ちと“こだわり”を中心に——

このゼミでは、自治体で発達相談員として勤務する谷口氏に事例報告をしていただきます。民間保育園、療育園、公立こども園の経過をたどったお子さんの育ちについて、どのように2次元の世界を開き、また充実していったのかに重点をおいて報告していただきます。詳細については現在打ち合わせ中です。

## ゼミⅤ 新しい発達診断法開発の試みから——発達診断の根拠と実践的意義を考える——

人間発達研究所の「新しい発達診断法開発プロジェクト」では、現在乳幼児期を対象に、発達の質的転換期（発達段階）をとらえること、発達診断を通じて実践に寄与することを目指す新しい診断法の検討に取り組んでいます。私たちは発達段階を念頭において発達診断をすることが多いのですが、これまで充分な実証的データがあるわけではありませんでした。そのため、「2次元形成期って、何？」というようなそもそもの疑問も少なくありません。このゼミでは、発達段階の存在を検証できないか、あるとすれば各発達段階はどのような下位項目によって取り出せるのか、などについて、プロジェクトの研究成果をもとに報告します。またこの診断法に位置づけられた「支え」項目について報告し、発達診断の実践的意義を考えていきます。さらにこれらの報告について、ゼミⅢの木下孝司氏より、コメントしていただきます。

## ●申込方法

- (1) 申し込みは専用申込用紙（払込取扱票）を用い、必ず一人1枚ご使用下さい。
- (2) 必要事項をご記入の上、受講料を郵便局から払い込んで下さい。交流会の参加、不参加のご記入もお願いします。現金書留での送付や、申込用紙を利用しての会費の払い込みはご遠慮下さい。
- (3) インターネットからも申し込めます。人間発達研究所のホームページをご覧ください。
- (4) 申込み締切りは10月23日（金）消印有効です。ただし定員になり次第締め切りますので、特に出張で参加される方はゆとりを持ってお申し込みください。
- (5) 申込み手続きが完了しますと「受付番号」をお知らせします。受付番号は当日の受付に必要です。メールアドレスをご記入の方には、メールでお送りします。
- (6) 宿泊は斡旋いたしませんので、各自でお取りください。
- (7) 昼食は各自ご用意ください。ゴミの持ち帰りにご協力下さい。会場の近隣に飲食店もあります。ご利用の場合は余裕を持ってお出かけください。

## ●キャンセル

郵送、FAX、メールで人間発達研究所までご連絡ください。キャンセル受付の返信をお送りしますので、必ずご確認ください。

10月22日（木）まで 全額をお返しします。

10月23日（金）以降 申し訳ありませんが返金できません。

## ●交通のご案内

- ・JR琵琶湖線「大津駅」より路線バス「湖岸経由<石山駅>」行または「近江大橋経由<草津西口>」行乗車、「馬場1丁目」下車（230円）。「くら寿司」を左折。緑色の建物。バス停より徒歩約3分。
- ・JR琵琶湖線「膳所駅」よりは徒歩約15分（新快速は止まりません）。
- ・駐車場の確保が難しいため、お車でのお越しはご遠慮ください。

